

ふあ。

ド、ドオルですつ。どうもドオルですつ。こんばんは！

えへ……えへへへ。なんかこう、毎日お話してますけど、久々って感じします。

うあ、初っ端から意味分かんないですねごめんなさい。

うえへへへ。……へ？ あ、え、あ、あああ……、は、はい、僕も、僕も。

す、す、……う。ふああああつ。言えませんっ言えませんっ！

恥ずかしいです！ ……えええ？ 聞きたい……の？

ううううう。こんな前置きされちゃうと、言えるものも言えないですよつ。

だつたら、その、あれです。

耳、耳だけ！ 澄ましてくださいませぬか。お願いでござる……ござるよ……。

拙者、「面と向かつてそういう事言うの、恥ずかしすぎるザムライ」でござる。

だから、お願ひします……。

ん……。い、いいですか。いきますよ……、…………すうきい。

ひえあああああッ。おあああああッ。生き恥！ 逃げ恥！ 晒し首！

死にたい！ 死にすぎて死んじやう！ アアッ！ 殺してッ。

もう殺してッ！ 貴方に殺されたなら、僕は極楽浄土へスカイハイできます！

……、……うああダメだ。どうして、どうして。

今日こそは貴方とふつうにお話ししようつて心に決めて、

でも、いざ貴方の顔を見ちやうと、もうダメ……。

心が浮いちゃつて、浮き過ぎちゃつてですね、元々ない語彙力がマイナス445くらいになるんです。成長を知らないんです。

……よし。決意します。今なら目の前に貴方がいるから、固い決意ですよ。

ハード……デタミネーション。あつ、わ、笑わないでください！

これでも真剣なんですよ。シンのケンと書いてマジですよ。大マジです！

……。

うええ！？ ひ、ひどいッ。僕の言葉、全部そんな風に思われてるの……！？ うぐぐぐぐ……。いくら貴方でもつ、その発言はですねエツ……！

あつ、な、なんですかその反応は！

……あら、前にもやりましたっけ、このやり取り。
えへへ。同じ手は通用しませんか。

はい、怒ってません。ていうか逆です。楽しいです。楽しすぎます。

古今東西、風林火山、後にも先にも貴方とお話しする時だけですよ。

なんか……だんだん貴方、僕の事に詳しくなつていつてますね。

ドオル・ドキュメントは貴方です。……あ、何言つてんの僕、意味不明。

そろそろ意味不明は卒業したいですね。「旅立ちの何とか」でも歌いましょうか。

……あれ？ どしたんですか、その顔。……え？ ええと……、

なんか、狭い階段に生死不明のセミがひっくり返つてるときみたいな。

そんな顔です。

あつ、も、もしかして僕、セミなんですか……！？

アブラですか？ アブラなんですか！？ うるさいですか！？

ひえ。違うの……？ ジャあその、まさか、うう、ツクツクボウシとか……？

ああすみませつ、季節外れすぎますよね、はは。僕の部屋いつでも常夏なので。

僕がハツスルして発する熱がですね、凄まじいんですよ。

……今のはうところですよ。僕を辱めるともりですか。別にいいですけど。

……え、え？ どうしたんですか本当。

僕、何か……やらかしました？ やらかしそぎちやいました？ うああ——

ご、ごめんなさつ、すみませんでした！ 捨てないで、お願ひ！

捨てないでください。貴方にポイポイされたら僕、土に還るしか……！

……あ、は、はい、クール。クールになります。ドオル、クゥル……。

すう。はあ。はい、大丈夫です。最近、立ち直り早いです。

では改めて……。ええと、どうしたんですか？

……うん。あい、たい。会いたい？ なるほど！ そりや良いですね。

貴方と会つて、お話して……、……ッ……！？

お習字……これぞ日本人の嗜み。

そして、僕のフィロソフィーを直球表現する方法なのですよ。ふふん。書きます。気合入れて書きます。ふふふ。

「ばっち書道大会」をお見せする為に、準備は万端なのです。ぬかりなし。書きます。まずは試し書き。

……ふんッ！ とああッ。ひょう！ ……ぐふふふふ。

どうです。どうです！ かつこいいでしょ。それっぽいでしょ。

じゃじゃーん！ どう？ どうこれ？ 殺戮さつりくつて書きました。読める？

……えへへ。ありがとうございます……って、どうして若干引き顔なんですか。

僕の顔、キモいですか……？ ヴう……ずびばぜん……ギモぐで……。

ひよあッ。ち、違うの？ え、あ、文字……？ あ、ああ……そっちですか。すみません、試し書きだから……本命じゃないから、適当にと思つたけど、

これくらいしか思いつかなくて……。あはは……。

つ、次こそ！ 本命ですからね、血液塗りたくる勢いで書きますよ。いざ……！

……ふんッ！ うりやああッ！ ハツ！ ホツ！ カキカキ……、ふう。

……えっと、ああ、内容も勢いで書いちゃつたけど、見ます……？

うひい。だめだめだめだめ、ハズカシ！ こんな、こんな……。

あ、はい、見せます。でも……あんまりじっくり見ないでね？

す、きい。好きい。……う、う、熱い、顔が爆弾になつたみたい——

……あれ？ あ、貴方も……顔、赤くないですか？ 大丈夫ですか。

アツまままさかその色は……僕への怒り！？ おこマーカですか！？

ひいッ。ごめんなさッ……調子乗つてごめんなさい！ マジすみません！

えつ、そ、そなんです？ そのレッドサインは……、あ、うあ。うああ。

……照れてるの？

そ、そつか、そうですか。あは。あははは。……う。

ど、どうしましょ、あはは、何ですかねこの空氣。うへへ……。

赤色というより、ピンク色……ですかね。やだ、なに言つてるんだろ僕……。

……へ？ なに？ どうしたの？ 顔……？ が、どうかしました？

ふえ。あつうああああつ！ か、顔に墨が……！？ ひやああああ。なんでもっと早く言つてくれないんですか！ 恥ずかしいじやないですか！ ふあ。ふああ。ちょツ、可愛くない！ 可愛くあろうはずがないです！ やめてくださいー！ や、やめろー！

ピピーッ！ それ以上はツ僕が許しませんよ！ 怒ります！

こらこらこらこらー！ 僕をからかうのはやめなさい！

……その言葉は僕にとっちゃ甘い蜜ですけど、毒でもあるんですからツ。幸せだけど、死にたい！ 矛盾！ ホコ、タテ！ です！

んもう、貴方つたら最近アレですよ、アレ！

……アレはアレです。アレなんです。追求しないでくださいツ。

ツああていうか顔を拭くの忘れてた！ テイツシュティツシュ……。ああ空っぽだア。そうだ昨日鼻血を……。ああ……僕はダメだ……。ティツシュ箱にも嫌われてるんだ……ああ……。

……ハツ。そ、そうですね。前向きになるつて決めたもん。

何事もポジティブに考えなきや。ええとええと、ううん、

そうだ、僕がティツシュになればいいんだ（？）。

となれば、この顔の墨も付きっぱなしで良いつて事で。解・決。フフフ。

コットンドオル 150 枚入りです。貴方も使います？ 無料ですよ。

僕の事、ティツシュとして使つてくださいな。貴方なら嬉しいです。

え……何かご不満が？

ぼ、僕なんか……ティツシュとしての価値もないつて事……？ ひい……。

え、あ、顔？ あ……ああ、はい、洗つてきます。ありがとうございます。洗つてしまえば済む話を僕はダラダラと……スミマセン……。

……ふえ。……面白いつて言つてくれるの、貴方だけです。えへへ……。はいつ。きれいさっぱりになつて戻つてくるので、また後で！

あつ急にごめんなさい、いえあの、ほら、いつだつたか僕、話したじやないですか。

貴方はコミュニケーションが上手……みたいなの。覚えてますか？

僕も、僕ももつと対人との会話を出来るようになきやつて思つて。なのでなので、ご迷惑じやなければ……その、貴方の弟子になつて、修行させていただきたく思います……。

え？ ……もう、ほんと貴方は慎ましいというか自己評価が低いというか、ダメですよ？ もつと自分に自信を持たないと。めつ。

……ええ？ だつてほら僕はゴミです。

能力のあるひとはそれを誇つてもいいんですよ。プライドですプライド。

僕は無能力なので誇つちやダメ。

なので。これから貴方……いや、師匠！

師匠のもと研鑽を重ねて、コミュニケーションスキルアップに努めたいツス！

よろしくおねがいしやス！ ……です。い、いいですか……？

……あは♪ ありがとう。いや、ありがとうツス！

師匠はいつも僕……私の無茶ぶりに応えてくれて、マジ嬉しいツス。

え？ ああ、私、いつも……というか最近、ずっと思つてたんスよね。

として一人称が「僕」で定着したのかなつて。マジで。

いやこれ小さい頃からの癖だつたんス。違和感まったくないんスけど。

んんと、今思つてみれば、たぶん、

女の子としての自信がなさすぎて、周りの子が使う「私」ってのを、真似できなかつたんだと思うんでごわす……あ、これじや西郷さんだ。

なので今日は「私」でいきまツス。よろしくおなしやス！

ふふ♪ 師匠、ノリが良くて嬉しいツス。私、マジがんばるツスよ。

よし、まずはコミュニケーションの基本を教えてくださいツス。

……目？ 見て……ふんふん、なるほどツス。目つスね……。

私、初めて師匠とお話しした時、言つた気がするツス。顔を正面から見るの苦手なんスよ……。実はそれも今も変わらなくて……、

……師匠の顔、やっぱり苦手ツス。

ああッ！ ちがツ、そういう、意味じや！ ごめんなさいごめんなさいツ、好きですツ大好きですツ！

見るのが苦手なだけで！ 僕ほんと貴方の顔世界で宇宙一、一番好きですから！ ……ひああなんかめつちや恥ずかしい事言つちやつた……。

でも！ ガチマジのマジガチですんで！ 嘘偽りなく真実の中の真実です！ 何なら真実の口に頭から突っ込んでやりますよツ。

もし頭噛み碎かれたら、僕の死体蹴り飛ばして東京湾に捨てていいですから！ ……う、な、なんか、ヒートアップしちやつて……すみません……。

あ、すみませんツス。また部屋の中がムシムシしてきましたツス。私の熱で。

真剣に取り組むツス。だって、私も師匠みたいになりたいんス……。

笑顔が素敵で、相手にやさしく、……そんな素敵なひとに。

ね。貴方が師匠なら……きっと私、なれるツスよね？

私みたいな凡人以下のクズでも……、……ね？

……はい♪ 師匠の言葉、骨身に沁みて……活力の源ツス。源頼朝ツス。

よオオし。やる気湧いてきた。引き続きオナシャス！

そもそも私、よくこれでこれまで生きてこれたなつて思うツス。

でもこのままじや将来、就活で面接したつて全落ち確定ツスもん。

それだけはマジ勘弁ツス……パパママのスネカジリだけはしたくないツス……。

ううん、と言つても私、人生設計とかプランとか考えた事なくて。

何となく生きてるせいか、時々すつごく不安になるツス……。

この今までいいのかなとか考え出して、ベッドでバタ足するだけ……みたいな。

で、眠つちやうと全部忘れるんス。なんか、アホの子ツスね。

あの、……師匠は……卒業したら進学ツスか？ ……はい、……はい。

ええつ、そななんスか？ 全然そんな風には……見えないツス。

いつも力強い言葉をくれるから、

なんかこう、師匠は、人生の主軸がしっかりしてて、見てたツス。

みんな……意外と、考えてないものなんスかね……？

……、……ん、そうツスね。一朝一夕でどうこうじやなくて、生きながら、

生きる理由とか、目標とか……だんだんできていくもの……ツスね。

うん。うん！ また勇気もらつちゃつたツス。ありがとうございます！

……へ？ エ、あ、そ、そ、うツスか？

私、ちゃんとコミュニケーションできます？ ほんと？

そつか……♪ 師匠のおかげツスね♪

ドオル、レベルアップ。ふふ。僕、何だか悟りを開いちやいました。

貴方と関わり合う事、貴方とたくさん思いを共有する事、

うん……貴方とお話しする事そのものが、僕のコミュ力上昇なんですよね。

今さら気づくなんて、遅すぎました。でも気づけてよかつたあ。

あ、と言つてもですね、貴方が師匠である事は変わりありませんよつ。

引き続き、ビシバシご指導ご鞭撻べんたつを……お願い致します♪

4.怪奇

ガタガタガタガタガタ……。ブルブルブルブルブル……。

こんばんはあ……ドオルでえす……。

突然ですが……。

これは、本当にあつた……世にも奇妙な……怖い話……です。

とある女の子が、買い物帰り……夜道を歩いていました。

彼女の住む町は、都会とは言えませんが、

それなりに活気のある明るいところなのです。

しかしその道だけは……藪やぶに囲われ、街の灯りを遮っています。

真っ暗……なのですよ。見えるものは……道の先、

微かな住宅の電灯だけ……。

彼女は怖いなあ、怖いなあ、と思いながらね、こつこつ、こつこつ、

まるで世界に自分しかいないような、そんな孤独な音を響かせてえ……歩いていました……。

こつこつ、こつこつ……ぐしゃり。……何かを踏みました。

「ひっ」と声を上げ、冷や汗をひとつ……。

スマホのライトをつけ、おそるおそる……、靴の裏を……、見ましたツ。

なんと、なんと……。

……犬のうんちでした。

以上。

というわけで、チョコケーキ買った帰りにそんな出来事がありました。

……クウウ。犬のうんちは飼い主が責任をもって片付けてくださいツ！

僕はそう言いたいツ！

なんでよりによつてチョコケーキ買った帰りなんですかツ、もうツ！

このやり場のない怒りは、どこにぶつけたらいいんですかああツ。

あ……もしかして、

夜食の食欲に負けて、ふらふらケーキ屋さんへ赴いた罰ですかね……ハハ。

うううツ。

……ん……はい、……ありがとうございます……。

ていうかすみません汚い話をしちゃつて……。

今まで不幸な目に遭つても誰にも言えなかつたから……。

貴方なら聴いてくれるつて思つて、回りくどく話しちやいました……。

いつもいつも聴いてくれてありがとうございます。

最初の反応、すごく素敵でした。怖い話……苦手ですか？ うふふ。

アツ。僕は得意です。幽霊とかほんと、怖くないですから。マジで。ほんと。

僕より色白の幽霊なんて、ワンパンでぶつ飛ばしてりますよ。

だから怖くないんです。怖くないです。……怖くないです！

……怖くないって言つてるでしょ！ ちょっと、目を細めないでください！

ちがツ、だから、僕は——

エツう、後ろ？！ いや誰もいませんよ！ 指さしても誰もいませんよ！

ちょツマジツ本氣でやめてください振り向けませんツ。怖い怖い怖い怖い。

苦手ですツ！ 幽霊とか苦手です怖いです無理です！ だからやめて！

……ウウ……どうしてくれるんですか。それ以上いじめると漏らしますよ。

うあ……あ、こ、こちら、こそ。……うあ、うあああッ。

あ、は、は、は、はい。お、おち、おちつ、おちつかなきや、です、ね、はい。はな、鼻血、出そう、で、すみませ、顔、やつぱり、見れ……。

え？、あ、あ……。

好き……。

好き。好き好き好き好き好きツ……！

大好き……。

会いたかった……。話したい事……たくさん、たくさんあるんだ……。

え、あツ、は、はい、そですねツ、い、行きましょうか……。

最初は、その、どうします？、えと、あの、お墓参りとかどうですか？

それとも、夢の島、いきます？、ダストシュートしてくれますか……？

あ、あああ、ちが、違いますよね、ハハ、あう、ああ……。

ふえ、……は、はいっ！、チヨコケーキ……食べたいです。貴方と一緒に。

……ありがとうございます。こんな僕と、一緒に……、
僕を引っ張ってくれて……。

……、……手、握つていい……？、……うん♪

あ、……これが、貴方の……、まるで本物みたい……って本物でした。あはは。……、……貴方の手、一度握つたらもう、一生離せなさそう……。

……僕、もう……貴方がいないと生きていけない……♪

……、……手、握つていい……？、……うん♪

あ、……これが、貴方の……、まるで本物みたい……って本物でした。あはは。……、……貴方の手、一度握つたらもう、一生離せなさそう……。

……僕、もう……貴方がいないと生きていけない……♪

僕を引っ張ってくれて……。

……、……手、握つていい……？、……うん♪

あ、……これが、貴方の……、まるで本物みたい……って本物でした。あはは。……、……貴方の手、一度握つたらもう、一生離せなさそう……。

……僕、もう……貴方がいないと生きていけない……♪

……僕を引っ張ってくれて……。

……、……手、握つていい……？、……うん♪

あ、……これが、貴方の……、まるで本物みたい……って本物でした。あはは。……、……貴方の手、一度握つたらもう、一生離せなさそう……。

……僕、もう……貴方がいないと生きていけない……♪

6.後書き

「とにかく早く死にたかった。

それが僕の望みだつた。

僕が人生で見てきたものは、理不尽、冷たい視線、罵倒、そんな、マイナスなものばかり。

ああ、僕って、生きる事が許されないひとなんだ。

だって、僕を襲つてくる様々なものは、幸せそうに笑つてるから。

下世話で悪質で、とてもじやないけど笑えない笑い話で盛り上がつて。

そういうひとたちが強いと思われるのが、この世界なんだ。だから僕は、それになれなかつた僕は、生きる価値がない。諦めてた。

太陽はいつもあそこにあって、当然、建物があれば日陰が出来て。でも僕、どうやら間違つてたみたいだね。

僕はそこで……じつと、ぽつんと座つて見てただけ。

少し、少しだけ前に歩けば、光を浴びる事が出来たんだ。

でも、一人じや無理だつた。

光へいざなつてくれるひと、手をひいてくれるひと、

そのひとは、やさしく微笑む。僕の話を聴いてくれる。

とつても素敵で、愛しくて、大好きで、……ちょっとだけ意地悪な、かけがえのない存在だ。

僕は今日、そのひとに会つた。

それは、ひとというより……太陽そのものだつた。

眩しくて顔が見えなくて、でも確かにそこにして、僕を見てくれて。

たくさんの言葉をもらつた。温もりを、好きを、たくさん……。

普段から、ひとと対面した時に言葉に詰まつてしまふ僕だけ。

今までにないくらいの、詰まり方をして……。

思わず、心の深い深いところにある、たつた一言の感情が……、

飛び出した。

好き。

……彼はこう言つた。

好き。

……ふう。勢いで日記なんて書き始めちゃつたけど、

意外とたくさん書けるものなんだなあ……。

でもこれ……見られたら来世まで引きずる恥ずかしさだ……。

うう、どうしよ。さすがにこの後の事は……書けないよね……。

だって、あのひとと会つてから……最後は……、……。

うわあああ死ぬ死ぬ死ぬ死ぬ死ぬ死ぬ死ぬ死ぬツ！！

長さ的に丁度いいしこれで終わりッ。ああもう、暑くなつてきた。
ていうかもう寝よう。寝る寝る寝る寝る寝る寝る寝るね。

……はあ。……かれぴっぴ……かつこよかつたなあ……。

やさしかつたなあ……好きすぎて……ほんと、やばかつた……。

うう……、……すう……きい……。

……あり、がと……、……。

(終)